

耐汚染性に優れた表面処理フィン材「KS175」

神谷憲一・太田陽介

アルミ・銅カンパニー・真岡製造所・アルミ板研究部

エアコン用のアルミニウムフィン材は、通風抵抗の低減のため、親水性表面処理が施されているが、最近、室内の床ワックス、壁紙などから発生する物質（パラフィン、DOP など）がフィン表面に付着し、親水性が低下する場合がある。

当社の開発した樹脂系三層表面処理フィン材「KS175」(第1図)は、これらの汚染物質が付着しにくく、付着した後も除去されやすい皮膜成分と皮膜構成を選定したことにより、汚染物質の付着による親水性の劣化を防止することができる。以下に「KS175」の特徴を示す。

特徴

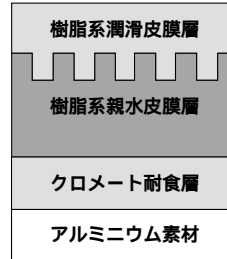
汚染モデル試験方法を第2図に、「KS175」の耐汚染性を写真1に示す。

1) 耐汚染性に優れている。

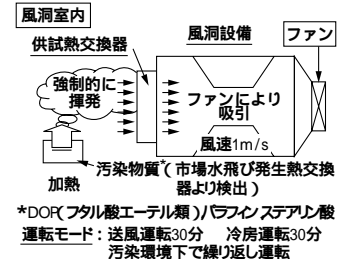
汚染物質が存在する環境下での使用においても親水性の劣化は小さく、フィン間に架かる結露水によるブリッジの発生を抑制する。

2) 親水皮膜層として高親水性の樹脂成分を使用しており、通風抵抗を低減できる。

3) 潤滑皮膜層の効果により、優れたプレス成形性を有する。



第1図 KS175の皮膜構成



第2図 汚染モデル試験方法概略図

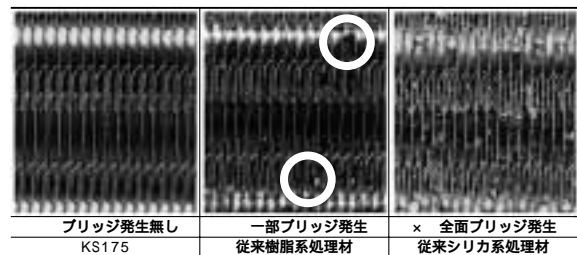


写真1 KS175の耐汚染性（汚染モデル試験結果）

問い合わせ先：アルミ・銅カンパニー 真岡製造所・アルミ板研究部 TEL (0285) 84 - 4118 FAX (0285) 84 - 0677

アルミニウム製大型ユニット式システム型枠

笠松淳也・畑山直史

アルミ・銅カンパニー・アルミ押出・加工品営業部

写真1に示す型枠は、日本原燃内にある大型施設のコンクリート壁建設に使用されたもので、従来の鋼製型枠に替わり軽量化および耐久性向上を実現した、ユニット数94、全長140mのアルミ製大型ユニット式システム型枠である。

特徴

1) 構造特性（第1図参照）

・アルミ製フレームとFRP樹脂板を組合せた複合型枠を、縦2枚×横3枚（計6枚）の大型パネルに組み、それにアルミ製端太および支保工をジョイントさせ、さらにアルミ製布枠・手摺・階段を取付けている。

2) 軽量化

・鋼製と比較して、重量が1/2になるため、大型クレーンが不要となり、施工コストが削減できる。

3) 耐久性

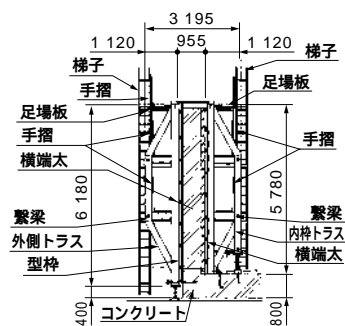
・すべての部材にアルミを使用しているため、解体後の塗装補修が不要となり、維持管理コストを削減できる。

4) 施工性

・ユニット式なので施工性および打設精度（仕上り面）が向上し、工数削減が可能である。

・布枠など、他付属部材も取付けたシステム構造なので施工性が向上し、解体後の保管および再現性が容易である。

・FRP樹脂板は透光性であるため、打設管理（状況確認）が容易である。また、コンクリートの離型性が良いのでメンテナンスフリーで、転用可能である。



ユニットサイズ：W3000×L6200×H1100mm

第1図 断面詳細図

写真1 アルミ製大型ユニット式システム型枠



問い合わせ先：アルミ・銅カンパニー アルミ押出・加工品営業部 TEL (03) 5739-6452 FAX (03) 5739-6950